

資料 1

令和 3 年 9 月 29 日



守山市 記者提供 資料

担当部署	環境施設対策課
担当者	伴 羽場
電話	077-585-2828
FAX	077-585-8810

もりやまエコパーク 環境センター竣工式

本市の最重要施策として位置付けておりました「もりやまエコパーク 環境センター」が 10 月 1 日から稼働することとなりました。つきましては、竣工式を下記のとおり挙行します。

日時：令和 3 年 10 月 1 日（金）午前 10：00～（受付 9：30 より）

※式典終了後、施設見学を実施

場所：守山市環境学習都市宣言記念公園 1 番 2（もりやまエコパーク内 現環境センター隣）

※施設の概要は次ページのとおり

施設概要

事業方式	DBO方式（Design：設計、Build：施工、Operate：運営：20年間）
事業期間	・工事期間 平成30年9月28日～令和3年9月30日 （実施設計・準備工含む工期であり、本体工事は令和元年6月から着手） ・運営期間 令和3年10月1日～令和23年9月30日（20年間）
事業費 （消費税含）	・工事費 7,236,000,000円 ・運営費 8,690,000,000円（20年間）※434,500,000円（1年間）
設計・施工	協和エクシオ・日建特定建設工事共同企業体
設計・施工監理	復建調査設計(株)
運営事業者	(株)もりやまエコクリーン（特別目的会社）
敷地面積	約2.5ha
建築面積	5,264.68（工場棟）
延床面積	10,631㎡（工場棟）
建物高さ	30m（煙突高さ32m）
施設規模	・熱回収施設 71t/24h（35.5t/24h×2炉）ストーカ方式 処理対象物 焼却ごみ ・リサイクル施設 10.68t/5h 処理対象物 破碎ごみ、粗大ごみ、ペットボトル、空き缶など
施設の特徴	・1日の処理量が71t/日と小規模施設でありながら、蒸気条件4MPa、400℃で高い発電効率（17.0％）を達成（発電出力1,400kw：基準ごみ2炉運転時） ・隣接する交流拠点施設の温水プールへタービン排熱を利用したエネルギー供給（熱利用率1.5％） 熱回収率（18.5％）＝発電効率（17.0％）＋熱利用率（1.5％） ※70トン級の処理施設では全国最高水準 ・ごみを焼却の際に発生する熱エネルギーを利用するサーマルリサイクルを実施（エネルギーの地産地消） ・煙突が目立たなく、周辺景観に配慮した外観デザイン（最上階には琵琶湖を眺望できる展望スペースを設置） ・バーチャル炉内体験やパッカー車のトリックアート等を設置し、充実した施設見学を実施
排ガス基準値	排ガスについては、法規制値よりもさらに厳しい自主規制値を設け、地域の環境保全に最大限配慮

エネルギーと資源の有効活用を積極的に推進し、
地球環境にやさしい持続可能な循環型社会を実現

～70トン級の小規模処理施設では全国最高水準 エネルギー回収率18.5%を達成～

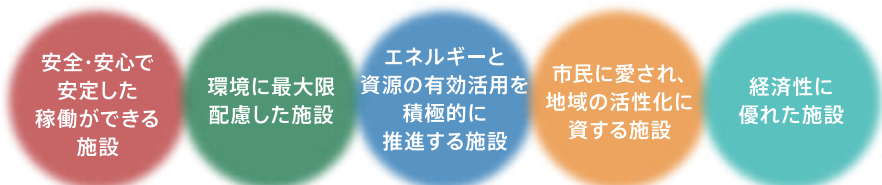
新環境センターは、熱回収施設の1日の処理能力が71tで、全国的にみれば小規模な施設ですが、ごみの焼却に伴って生じる熱を利用し高温高压の蒸気でタービンを回して発電を行います。

また、発電で得られた電気は、施設全体の電気を賄い、余剰分は電力会社に売電し、タービン排熱は交流拠点施設の温水プールへの熱供給（熱利用率1.5%）

施設は最先端の技術を導入し、地域の環境保全に最大限配慮した運営を行うとともに、熱エネルギーと資源の有効活用を積極的に推進し、地球環境にやさしい持続可能な循環型社会を実現します。



施設コンセプト



施設概要

施設名称	もりやまエコパーク環境センター
施設規模	熱回収施設 71t/24h(35.5t/24h×2炉) リサイクル施設 10.68t/5h
所在地	守山市環境学習都市宣言記念公園1番地2
敷地面積	約2.5ha
工期	平成30年9月28日～令和3年9月30日

設備概要

熱回収施設

受入供給設備	ビットアンドクレーン方式
燃焼設備	全連続燃焼式ストーカ炉
燃焼ガス冷却設備	廃熱ボイラ方式
排ガス処理設備	減温塔、ろ過式集じん器、脱硝反応塔
灰出設備	焼却灰／ビット貯留 飛灰／薬剤処理後ビット貯留
余熱利用設備	蒸気タービン発電設備1,400kW(基準ごみ2炉運転時)

リサイクル施設

受入供給設備	受入ヤード、受入ホッパ
破碎設備	低速回転式破碎機、高速回転式破碎機
選別設備	磁選機、粒度選別機、風力選別機、アルミ選別機

建築概要

工場棟

建築面積	5,264.68㎡
延床面積	10,631.00㎡
構造	鉄骨造／鉄骨鉄筋コンクリート造／鉄筋コンクリート造、地上6階建て

管理棟

建築面積	450.80㎡
延床面積	819.00㎡
構造	鉄骨造、準耐火建築物、地上2階建て

計量棟

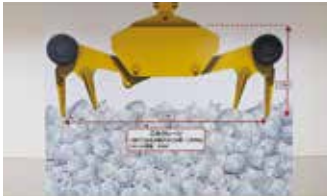
建築面積	153.00㎡
延床面積	187.00㎡
構造	鉄筋コンクリート造+屋根鉄骨造、地上1階建て

ストックヤード棟他

建築面積	674.65㎡
延床面積	585.60㎡
構造	鉄筋コンクリート造+屋根鉄骨造、地上1階建て

施設の特徴

- ・70トン級の小規模施設でありながら、高温高压(4MPa、400℃)の蒸気条件で高い発電効率(17.0%)を達成。
※発電出力:1400kW(基準ごみ2炉運転時)
- ・タービン排熱を利用し、交流拠点施設の温水プールへの熱供給(熱利用率1.5%)
エネルギー回収率(18.5%)=発電効率(17.0%)+熱利用率(1.5%)
- ・焼却の際に発生する熱エネルギーを利用する、**サーマルリサイクル**に取り組みます。(エネルギーの地産地消)
- ・**煙突が目立たなく**、景観に配慮した外観デザイン(最上階には琵琶湖を眺望できる展望スペースを設置)
- ・埋設廃棄物対策として**ランブウェイ**を採用
- ・バーチャル炉内体験やパッカー車のトリックアート等を設置し、**充実した施設見学**の実施。



市民が共に学び、考え、行動する「環境学習都市」の実現

新環境センターの建設を契機として、平成29年10月23日に「環境学習都市宣言」が制定されました。この宣言は、「市民一人ひとりが守山の環境について、さらに理解を深めるとともに、学び、考え、行動すること」とする自治連合会からの決意表明を受け、市民の手によって定められたものです。

この宣言のもと、これまで先人たちが守り育ててきた恵まれた環境を未来へつないでいくために、令和3年4月にオープンしたもりやまエコパーク交流拠点施設と新たな環境センターを市民の環境学習と実践活動の拠点として「環境学習都市」の実現に向けた取組みを進めます。



環境学習都市宣言記念公園「もりやまエコパーク」完成予想図



環境学習の実践(交流拠点施設)

排ガス基準値

もりやまエコパーク環境センターは最先端の技術を導入し、排ガスについて法規制値よりもさらに厳しい自主規制値を設け、地域の環境保全に最大限配慮します。

項目	自主規制値	法規制値
ばいじん濃度	0.01g/㎡N	0.15g/㎡N
硫黄酸化物濃度	30ppm	K値=8.76 (約6,000ppm)
塩化水素濃度	50ppm	430ppm
窒素酸化物濃度	50ppm	250ppm
ダイオキシン類濃度	0.05ng-TEQ/㎡N	5ng-TEQ/㎡N
水銀濃度	30μg/㎡N	30μg/㎡N

ppm :0.0001% ng :10⁻⁹g μg :10⁻⁶g

